

# こども寄席 レポート

5月11日（土）10:30～11:30  
 さんびる文化センタープラバホール2F大会議室

文/宮森健次 撮影/佐野明美

上定松江市長が開演前に子どもたちと話したいということですが、という連絡が入ったのが前日。そして、テレビが2社、新聞が2社取材に来ています、と聞いたのが当日の朝。市立中央図書館主催となると、こんなに注目してもらえるのかと驚いた。司書さんたちは「いったい何人來られるかまったく分かりません。少なかつたらごめんなさい」と打合せの時に不安げだったのに、い

松江算数活塾落語教室9回目の出張落語会の様子をお伝えします。  
 一人一人の高座の写真や落語については、ホームページに載せていますので、ぜひご覧ください。※8ページのQRコードからも入れます。



← 本番前の子どもたちを激励する上定松江市長。

すると、いろいろな発見があつて、千の位に8が来るのは6つ・6こずつのリズムがある・5511000のように222のリズムがある・10と01が逆になつてゐる などなど、発見話を楽しそうに語るのでした」  
 活ママ「それがよくおっしゃる算数の土地勘ですかあ」  
 塾長「そうそう、全体の地図が見える」と自分の居場所がはっきりするで

しよ。近道を教えてもらつたら、次の問題の時にすぐ近道を教わろうとするけど、土地勘がある子は自分で探検しようとするんですよ。もしかしたら、『真ん中の数は何でしょう?』という問題に、『二つある時はどうするんですか?』と質問するかもしれませんよ...  
 『まわりみち』たまらなくすてきでしよ」

①	8	5	1	0
②	8	5	0	1
③	8	1	5	0
④	8	1	0	5
⑤	8	0	5	1
⑥	8	0	1	5
⑦	5	8	1	0
⑧	5	8	0	1
⑨	5	1	8	0
⑩	5	1	0	8
⑪	5	0	8	1
⑫	5	0	1	8
⑬	1	8	5	0
⑭	1	8	0	5
⑮	1	5	8	0
⑯	1	5	0	8
⑰	1	0	8	5
⑱	1	0	5	8
⑲	0	8	5	1
⑳	0	8	1	5
㉑	0	5	8	1
㉒	0	5	1	8
㉓	0	1	8	5
㉔	0	1	5	8



# 活ママの 教えてください？

—算数編—



## 全部書き上げる

活ママ「先生、まわりみちって、具体的にはどんなことですか？」  
塾長「具体的に。はいはい。いっぱいありますよ。」  
活ママ「えっ？今度はおめんなさいから始まらないんですねえ。」  
塾長「はい。活塾ではまわり道だらけですから…」  
「算数ラボにある問題です。『0、1、5、8、の数字のカードが1枚ずつあります。この4枚のカードを全部並べて数をつくります。(1)一番大きい数は何ですか。(2)二番目に大きい数は何ですか。』という問題です。むずかしいというほどの問題ではありませんが、正答率は(1)がほぼ100%、(2)は半分の50%というところなんです。この手の問題は小学校五年生の教科書に登場します。」



ぎ、蓋を開けてみると、開演と同時に続々とお客様が入って来られ、定員の50名を超えて、念のために置い



←続いて川上塾長のごあいさつ



←開演のお囃子が終わり、主催  
松江市立中央図書館吉田館長の  
ごあいさつ



た70席が埋まった。高座を囲んでぎゅっと詰まっているのが寄席のベストなので、最高の環境を用意してもらったことになる。

子どもたちそれぞれ渾身の一席をやりとげ、お客様のお見送りもすみ、余韻冷めやらぬ中で始まった落書き。よく見ると、ネコや顔やらに混じって「活塾亭…」とていねいに書かれた高座名が連なっている。四月の寄席では、みんなのサインを色紙に書き、抽選でプレゼントした。ああそうか、サイン書きたかったのか。いつの間にか自分の高座名に誇り持ったんだね、あなたたちは。

